

平成 25 年 度

# 商 工 労 働 行 政 の 概 要

島 根 県 商 工 労 働 部

## はじめに

国においては、安倍内閣のもと、「経済の再生」を最重要課題として、「財政出動」、「金融緩和」、「成長戦略」を3本の矢に、矢継ぎ早に対策が講じられていますが、その効果が地域の隅々に行き届くまでは依然厳しい経済状況が続くものと思います。

このため県では、県民の暮らしや、県内産業に及ぼす影響が懸念されるため、引き続き積極的に産業振興と中小企業対策に取り組むこととしています。

国内市場の縮小や国際競争の激化など厳しい状況にあるものづくり産業におきましては、国内の成長分野への参入などに向け、生産力や受注力を強化するための設備投資に対する助成や、増加する海外の需要を取り込もうとする企業への支援などに取り組めます。

更に、昨年度まで県産業技術センターで取り組んできました「新産業創出プロジェクト」を更に発展させ、県内企業と共同して、新技術や新製品の開発を目指す「先端技術イノベーションプロジェクト」に取り組めます。

また、不安定な県内外の経済情勢の中、中小企業対策といたしまして、「経営改善長期借換資金」など金融支援や、経営力強化アドバイザーの派遣など人的支援を拡充し、経営の安定化に万全を期しております。

観光振興につきましては、昨年の「神話博しまね」に続き、本年5月には、出雲大社の大遷宮が執り行われ、地元においても様々な奉祝行事が計画されております。

県では、古代出雲歴史博物館での「出雲大社展」の開催や神話にゆかりの深い奈良県、三重県などとの連携を通じて本県の豊かな歴史や文化の魅力を切れ目なく発信していくこととしています。

本年度も各地域が持つ特色や強みを活かして活発な産業活動が展開され、地域の皆さんがいきいきと働き、また、国内外から多くの人を訪れる活力ある社会を目指し、地域の総合力を県経済の活性化に繋げてまいります。

平成25年4月

島根県商工労働部長 中村光男

# 商工労働部の施策展開

## [本県の産業構造の特徴]

公共投資依存型の建設業や、政府サービスのウエイト大

県内経済を牽引すべき製造業の割合が低い

2次・3次下請型中小企業や、労働集約型の中小企業が多い

公的需要が縮小する中で、  
民需主体の産業構造への転換が必要

## [県の取組み]

### 「しまね産業活性化戦略」で決定した重点分野

#### ものづくり産業の振興

- 新産業の創出
- 県内企業の強化支援
- 企業誘致

#### IT産業の振興

- IT人材の育成
- IT産業の集積

#### 地域資源を活かした産業の振興

- 県産品の販路開拓・拡大の支援
- 観光の振興
- 中小企業の振興

### 産業と雇用の好循環

### 「島根県総合雇用対策の方針」で決定した重点施策

産業人材の育成

産業人材の確保

若年者の県内就職促進

## [目標・効果]

産業構造の転換を進め、県経済の活性化を図る